



一隅を照らす運動総本部だより
No. 36



第29回全国一斉托鉢	2
平成26年度支部活動助成支部	8
一隅を照らす運動推進大会	16
一隅を照らす運動ニュース	19

一隅を照らす運動ホームページアドレス
<http://ichigu.net>

渡邊恵進前天台座主猊下ご遷化

平成二十六年十一月十三日、第二五五世天台座主大僧正渡邊恵進猊下が世寿百五歳にてご遷化された。平成九年一月二十日から平成十九年二月一日まで天台座主職を務められ、天台座主任期中は一隅を照らす運動総裁も務められた。

なお、密葬は十一月十七日、小堀光實延暦寺執行を喪主に滋賀院門跡にて、本葬は十二月十六日、木ノ下寂俊天台宗宗務総長を喪主に天台宗務庁において天台宗葬として執り行われた。謹んでご報告申し上げます。

第二十九回 全国一斉托鉢

平成二十六年十二月一日、第二十九回全国一斉托鉢が実施された。十二月の「地球救援募金強化月間」中は各教区本部を中心に戸別托鉢や街頭托鉢が展開され、師走の恒例行事となっている。今回も多くの方々の協力により平成二十七年一月二十日現在で五十六会場の実施報告があった。

全国での募金総額は七百六十二万八

各地の模様へ中間報告

(平成二十七年一月二十日現在)

延暦寺一山

平成二十六年十二月一日、比叡山麓の大津市坂本地区一帯で行われ、今回

で二十九回目を迎えた全国一斉托鉢には、延暦寺一山住職や職員、天台宗務庁の役員、総勢約百人が参加した。

午前九時より、法螺貝の音を合図に生源寺を出発した一行は雨の降る中、天台座主御名代の森川宏映探題大僧正を先頭に「造り道」を托鉢行脚。その後、六班に分かれて坂本界限の戸別托鉢を行い、多くの浄財が寄せられた。

また、天台宗務庁の役員と延暦寺一山寺庭婦人が、JR比叡山坂本駅とJR



R堅田駅、京阪本駅にて街頭募金を実施した。

なお、当日寄せられた浄財はNHK歳末たすけあい運動とNHK海外たすけあい運動へ寄託

された。

(募金総額56万3千580円)

滋賀教区本部

十二月一日、三十九名が草津市大萱地区にて実施。雨の降る中であつたが

・十二月六日、心齋橋筋戎橋にて十一名が参加し、街頭托鉢を実施。当日は寒風の吹く天候でしたが、通行人は多かった。ティッシュを



近畿教区本部

・十二月六日、二十八名が参加し京都市中央区四条河原町にて街頭托鉢を実施。
(募金総額50万9千116円)

京都教区本部



地元寺院の檀信徒の案内でスムーズに修行了きた。留守の方の一筆添えた募金に北大萱の方々のあたたかさを感じた。
(募金総額9万1千180円)

・第三部では十二月一日、寶性院周辺にて七十三名が参加し、寶性院檀徒を中心に戸別托鉢を実施。檀家さんの家では、玄関を開け住職を迎え、読経、般若心経を一緒にお唱えされる方や静かに聞かれる方もおられた。
(募金総額31万6千500円)

・第四部では十二月一日、八名が姫路駅前から姫路城前までの間にて托鉢行脚を実施。一隅を照らす運動キャラクター「しょうぐうさん」と一緒に旗を掲げて托鉢を行った。リーフレットやティッシュを配布すると、賛同してくださる方が沢山おられた。多くのあたたかいご協力があった。

兵庫教区本部

配りながら「一隅を照らす運動」を説明するグループと読経しながら喜捨を受けるグループに分かれて托鉢を行った。(募金総額15万9千778円)

・第一部神峯山寺支部では、十二月十四日に十六名が高槻駅前で街頭托鉢を実施。配布物のティッシュなど托鉢の趣旨を読んで、戻ってきて募金をして下さる方もおられた。若い方が多く協力してくれた。
(募金総額1万7千990円)

(募金総額9万5千549円)

・第五部では十二月三日、牛峰寺周辺にて十五名で戸別托鉢を実施。皆様親切に対応して下さり、日頃からの住職と地域の方々との密着した活動がうかがえた。
(募金総額4万4千円)

・第六部では十一月二十九日、三十三名が五班に分かれて永祐寺周辺にて戸別托鉢を実施。部内寺院を順番に実施場所として、今回で四巡目に入り、実施する側も協力してもらおう側にも恒例行事として定着したようので、支障なく回ることができた。
(募金総額10万8千615円)



岡山教区本部

第四部では十一月二十七日、倉敷市玉島地区にて五十名がそれぞれ分かれて戸別托鉢を実施。毎年同じ地区を回っているのので、心よりの浄財をいただいている。(募金総額19万2千606円)

山陰教区本部

第一部では十二月一日、三朝温泉街にて三十名が参加し、街頭托鉢を実施。歳末恒例となり檀信徒の協力と、町民の方々も快く托鉢に応えていただきました。(募金総額13万2千900円)

第二部では年間を通して募金箱を設置し、募金活動を実施。

(募金総額2万1千456円)
 ・第三部と第四部は合同で十二月一日、松江駅前にて七名が街頭托鉢を実施。当日は人通りも多く、皆様好意的であった。天台宗のアピールにもつながった。(募金総額9万5千438円)

四国教区本部

十二月一日、宇和島市内にて総勢六名が参加し、街頭托鉢を実施。子供が駆け



寄って来て、募金してくれる姿もあった。(募金総額3万4千657円)

九州東教区本部

第一教部では十二月一日、十名が国東町内にて街頭托鉢と戸別托鉢を実施。厳しい経済状況の中ではあるが、震災や災害が頻発する近年なので協力を惜しまない方が多い。

(募金総額3万円)
 ・第二教部では十二月一日、部内各寺院において檀信徒に呼びかけを行った。(募金総額4万5千円)

第三教部では十二月一日、豊後高田市にて八名が参加し、街頭托鉢を実施。実施日が月曜日であったため、休みの店舗が多く例年より募金額が少なかった。(募金総額14万9千902円)

第四教部では十二月一日、大分市のデパート前にて十一名で街頭托鉢を実施。



寒さのせいか、例年よりも人通りが少なく反応も少なかった。少数の方は理解を示し、協力もしてくれ毎年行っていることもあり、認知されてきたように感じる。(募金総額3万50円)

第五教部では部内各寺院より寄せられた浄財を地球救援事務局に寄託。(募金総額1万5千円)

第六教部では十二月一日、部内各寺院で檀信徒を対象に托鉢を実施。竹田市仏教会との兼ね合いで各寺院にて実施している。(募金総額1万円)

九州西教区本部

筑前部では十一月二十六日、小雨が降る中で筑前部東明寺を会場として東門司の商店街を中心に十三名が二班に分かれて戸別托鉢を行った。「天台宗全国一斉托鉢」の趣旨を述べて、商店の門口に立ち般若心経を唱え、あたたかい浄財を喜捨いただいた。小雨で寒い中、皆様の善意に心あたたまる思いがした。

(募金総額3万6千374円)
 ・久留米部では十二月四日、久留米市商店街にて九名が戸別托鉢を実施。寒い中、皆様あたたかく迎えて下さ



いました。商店街は年末の忙しい時期でしたが、「ご苦労様です」「寒い中大変ですね」などの言葉をかけて頂き、多くの浄財を喜捨いただきました。

(募金総額4万8千471円)

・柳川部では十二月四日、悪天候のため急遽日にちを変更して五名が参加し戸別托鉢を実施。そのため出仕僧侶は少なかったが、前もって訪問先への連絡、常日頃の活動により、今まで通り喜ばれる托鉢になった。

(募金総額2万2千664円)

・熊本部では托鉢開始前に雨が降り出し、やむなく中止した。地球救援事務局に部内寺院より集まった浄財を寄託。

(募金総額1万7千437円)

・肥前東部と西部では十二月二日、佐賀市内にて十四名が戸別托鉢を実施。当日県内は初冠雪を観測するほど気温が低く、商店街も人出が少なく、寒風の中での厳しい托鉢となったが、参加者は大きな声でお経を唱えなが



ら一軒一軒行脚していた。訪問先の商店では、店主はもちろんのこと店内のお客様たちからも托鉢の趣旨に賛同いただき、多くの浄財が集まった。

(募金総額3万5千428円)

・対馬部では十二月十七日、対馬市厳原町にて十名が戸別托鉢と街頭托鉢を実施。当日は今年一番の寒さで、道行く人も少なかった。戸口で声をかけると快く浄財を喜捨していただいた。同行の檀信徒の方からは「その様な格好で寒くないのか」「さすが和尚様方だ」と感心された。

(募金総額2万6千462円)

三岐教区本部

十一月二十七日、三重一部の常住寺信徒を中心に、総勢十四名が三班に分かれ戸別托鉢を実施。前もってお知らせしていた信徒宅を中心に、訪問し浄財をいただいた。般若心経を誦経する



間、皆さん玄関に出て手を合わせてあたたく迎えて下さり、「ありがとうございます」とお礼をいただき、托鉢する

(募金総額7万5千500円)

東海教区本部

・東海教区本部では十二月二十一日、名古屋市中種区の覚王山日泰寺本堂前にて八名が托鉢を実施。天候にも恵まれ参拝者の方自体も大変多く、ご協力いただいた方々も小さな子供からお年寄りまで幅広くおられた。

(募金総額7万円)

・第五部の吉祥院支部では、十二月一日から七日までの間、知多市八



幡地区にて二十一名が参加し、4班に分かれて詠唱しながら托鉢を実施。地域に定着した行事となったが、世代交代と不景気により募金額が減少している。(募金総額57万3千229円)

北陸教区本部

十一月三十日、福井市内の西武福井店前にて十五名が街頭托鉢を実施。天候にも恵まれて通行人の方々も快く協力して下さいました。終了しても追いかけて募金をくださる方もおられた。

(募金総額13万4千394円)

神奈川教区本部

十二月一日、川崎駅東口銀柳街商店街にて総勢三十四名が6組に分かれ、幟旗を掲し一隅を照らす運動キャラクター「しょうぐうさん」と一緒にチ



ラシ、ティッシュを配布し、街頭托鉢を実施。天台宗を掲げて全国一斉托鉢を行っている旨を伝え、募金への協力を呼びかけた。通行の方々

から多く浄財を頂戴し、また教区の寺院で集められた募金も持参していただいた。(募金総額25万9千182円)

東京教区本部

十二月十三日、聖観音宗浅草寺宝蔵門前にて四十二名が街頭托鉢を実施。一隅を照らす運動キャラクター「しょうぐうさん」が大変人気であった。参拝者や観光客の方々からあたたかいご支援をいただきました。

(募金総額33万63円)

北総教区本部

十二月一日、我孫子市布佐駅周辺にて十四名が参加し、戸別托鉢を実施。「共に仏心を育て、一隅を照らしましょう。歳末



たすけあいよろしく願います」と声をかけても関心は薄く、喜捨の精神には程遠く、慈悲心を育む出家者の使

命は大きいものと感じた。(募金総額16万5千円)

南総教区本部

十二月二日、茂原市茂原駅前にて八名が参加し、街頭托鉢を実施。当日は天候にも恵まれ、市民の皆様より気持ちのこもった浄財をいただいた。

(募金総額6万9千656円)

埼玉教区本部

十二月一日、川越駅周辺と熊谷駅周辺にて総勢二十七名が街頭托鉢を実施。当日は天候が不安定で時折小雨の降る中、参加者全員で熱心に声をかけながら活動した。熊谷では通行人も少なく、選挙活動の声がある厳しい中での托鉢となった。川越では駅前の人通りが多く反応が良かった。

(募金総額21万7千933円)

群馬教区本部

・南前橋部では十二月六日、百十名が参加し、南前橋部善光寺周辺にて戸別托鉢を実施。一軒ずつ訪問し、お経を唱えさせていただと檀家様から有り難く感謝された。

(募金総額57万4千301円)

・北前橋部では十二月二日、十一名が参加し、北前橋部浄土寺周辺にて戸別托鉢を実施。
(募金総額19万2千42円)

・西前橋部では十二月一日、五十七名が参加し、西前橋部東漸寺周辺にて戸別托鉢を実施。
(募金総額22万6千424円)

・高崎部では十二月二日、総勢二十五名(内天台宗五名)が高崎駅前、高崎市街地にて街頭托鉢と戸別托鉢を実施。高崎仏教会として、他宗の住職等と協力して毎年実施している。年末の風物詩となっているものの、年々市民の反応は鈍くなっている。

(募金総額5万円)
・富岡部では十二月十三日、十四名が参加し、富岡市内、甘楽町内にて戸別托鉢を実施。(募金総額3万円)
・多野部では十一月二十三日、多野部浄法寺で行われた多野部檀信徒伝道師会研修会にて募金活動を実施。
(募金総額5万8千800円)

・北群馬部では十二月六日、五十八名が参加し、渋川市内にて戸別托鉢を実施。(募金総額31万6千545円)
・桐生部では十二月七日、二十名が参加し、桐生市本町内にて街頭托鉢を



力いただき好印象であった。

実施。比較的人通りが少なく、店舗の閉店も多く「通り道」的な道路での托鉢に苦慮した。僧侶の街頭托鉢に気がついた一般の方々は快く募金に協

(募金総額9万4千692円)
・東前橋部では十二月一日、部内各寺院にて実施。(募金総額12万円)
・世良田部では十二月一日、部内各寺院にて実施。(募金総額3万円)

・下仁田部では十二月一日、十三名が南牧村商店街を中心に戸別托鉢を実施。この地域では甘楽西部仏教会の主催で、師走の年中行事として托鉢を実施している。今年は大雨のため、例年より範囲を狭めたので募金額も少なくなった。永年の伝統行事となっているため、快く喜捨していただき協力的だった。

(募金総額10万7千790円)
・西群馬部では部内会費より集まった

内から地球救援事務局に寄託。

(募金総額2万円)

茨城教区本部

・十一月三十日、第二部千光寺周辺を十八名が戸別托鉢を実施。当日は天候に恵まれ、檀信徒のお宅に事前に通知されており、浄財と共に親切なお言葉も添えて頂いた。また、留守にされていたお宅でも玄関に浄財が置かれているなど、大変スムーズに托鉢が行えた。
(募金総額13万8千円)

・第二部では十二月六日、筑西市下館駅周辺にて八名が街頭托鉢を実施。当日は急に気温が下がり寒さが厳しかった。一隅を照らす運動キャラクター「しょうぐうさん」が子供たちに人気があった。
(募金総額15万6千227円)

栃木教区本部

十二月四日、宇都宮市オリオン通りにて十名が街頭托鉢を実施。街行く人はほとんど足を止



めることなく通り過ぎていきましました。最初は一箇所、その後各自分かれて行ったが、風当たりは冷たいものであった。
 (募金総額2千694円)

福島教区本部

・十二月一日、五十名が参加し、喜多方市内にて托鉢行脚を実施。みぞれ交じりの雨の中、お経の声を聞いて家の中から出てくる人や、通行人の方々から募金をいただいた。

(募金総額7万2千450円)

・第四部龍興寺支部では、十一月三十日に「第二十七回歳末たすけあい詠讚托鉢」として詠讚会、伝道師会の会員など総勢二十四名が会津美里町、高田町にて戸別托鉢を実施。

(募金総額9万7千502円)



陸奥教区本部

十一月十六日、第一部の藤田寺にお



いて三十八名が参加し、戸別托鉢を実施。当日は風が強く、肌寒く感じられたものの幸にも天候に恵まれ、正しく仏天のご加護の中での托鉢となった。托鉢僧が近づく

と読経に手を合わせ「ご苦労様です。国内外の災害で苦労している皆様、恵まれない子供達に少しでもお役立てしてください」と物心両面のあたたかいご協力をいただくことができた。

(募金総額15万7千円)

山形教区本部

十一月二十六日、新庄市内にて立正校正会と合同で総勢四十四名(内天台宗二十八名)が街頭托鉢と戸別托鉢を実施。平日にも係わらず商店街の方々から多くの浄財を託されると共にあたたかいお言葉もいただいた。指先まで凍えるような天候の下で皆様の慈しみの心が感じられ胸があたかくなった。



(募金総額16万6千875円)

平成二十六年支部活動助成支部

一隅を照らす運動総本部では、平成十九年度から宗祖大師のお言葉「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」の精神で社会奉仕活動を永年にわたり実践する支部を奨励し助成を行なっています。平成二十六年度の助成支部は以下のとおり。

滋賀教区本部

●事業名…華開寺周辺清掃活動

●事業名…華開寺周辺清掃活動

- 活動年数…三十七年
- 該当事業…清掃奉仕
- 回数…年一回
- 場 所…滋賀県大津市仰木四丁目
- 人 数…寺族二名・檀徒二十六名
- 要 旨…各自が清掃道具を持ち寄り、各班に分かれ境内や地域周辺の清掃活動を行っている。

西光寺支部（駒田光潤支部長）

- 事業名…愛犬部檀信徒会「一隅を照らす運動」実践活動
- 活動年数…五年
- 該当事業…清掃奉仕
- 回数…年一回
- 場 所…滋賀県甲良町 滋賀県立甲良養護学校
- 人 数…寺族三名・檀徒二十五名・信徒七名
- 要 旨…甲良養護学校周辺の草刈り、花壇の草取り、



一隅を照らす運動総本部だより

生け垣の剪定等、普段はなかなか手入れが行き届かない場所を中心に清掃活動を行っている。

東雲寺支部（吉田慈順支部長）

- 事業名…第五回念仏行脚（浄土教の源流を訪ねて）
- 活動年数…五年
- 該当事業…文化
- 回数…年二回
- 場 所…滋賀県湖北一帯
- 人 数…寺族五名・檀徒四十名・信徒二十名・一般二百名
- 要 旨…湖北一帯は祖師方を始め、多くの念仏者と縁が深いため先徳が歩んだとされる古道を忠実に辿り行脚して文化にふれあう。



多くの念仏者と縁が深いため先徳が歩んだとされる古道を忠実に辿り行脚して文化にふれあう。

兵庫教区本部

長光寺支部（雲井明善支部長）

- 事業名…地域高齢者の慰問・慰労事業
- 活動年数…二十八年
- 該当事業…清掃奉仕
- 回数…年五十四回
- 場 所…兵庫県明石市大久保町八木
- 人 数…寺族一名・檀徒五名・信徒三名・一般八名
- 要 旨…谷八木公民会・老人憩いの家等において、喫茶やおしゃべりの場を設け孤独になりがちな高齢者に交友の場を提供している。

高藏寺支部（福井邦準支部長）

- 事業名…高藏寺周辺整備事業
- 活動年数…四十年
- 該当事業…清掃奉仕
- 回数…年二回



- 場 所…兵庫県篠山市高倉
- 人 数…檀徒五十名
- 要 旨…高藏寺周辺の草刈りや剪定を檀徒にご奉仕いただき、環境美化活動を行っている。

常行院支部（岡山亮徹支部長）

- 事業名…里山ふれあいの森づくり
- 活動年数…四年
- 該当事業…環境保全
- 回 数…年十五回
- 場 所…兵庫県加西市山下町
- 人 数…寺族一名・檀徒五十九名
- 要 旨…地域住民のふれあいを持つてる場所の提供や里山の整備保全活動を行っている。

彌勒寺支部（草別善哉支部長）

- 事業名…ほていまつり
- 活動年数…十二年
- 該当事業…リサイクル・文化
- 回 数…年一回
- 場 所…兵庫県姫路市夢前町
- 人 数…寺族四名・檀徒十名・信徒五名・一般二十名
- 要 旨…毎年十一月三日にほてい



まつりを実施し、境内を無料開放してフリーマーケットを行ってある。近年は地域の住民がごぞつて農作物等を販売している。

蓮華寺支部（速水巨雄支部長）

- 事業名…地域の高齢者の交流サロン
- 活動年数…十二年
- 該当事業…福祉
- 回 数…年十一回
- 場 所…兵庫
- 人 数…檀徒三十五名・一般二名
- 要 旨…地域の高齢者が集い、グループに分かれてお話やゲームをして楽しむ場を設けている。



白毫寺支部（荒樋勝善支部長）

- 事業名…植樹植栽及び交流事業
- 活動年数…二十五年
- 該当事業…環境保全・まちづくり
- 回 数…随時
- 場 所…兵庫県丹波市市島町
- 人 数…寺族五名・檀徒四十名・信徒五名・一般二十名
- 要 旨…モミジ・桜・紫陽花・石楠花等の植栽管理を行っている。特に昨年植えた石楠花八百本と既存の二百本の都合千本や九尺フジのふじまつりによる交流事業を開催している。

山陰教区本部

観音院支部（中村彰恵支部長）

- 事業名…蛍放生会／天台声明と虫観賞のゆうべ
- 活動年数…二年
- 該当事業…文化
- 回 数…年一回
- 場 所…鳥取県鳥取市上町
- 人 数…寺族七名・檀徒四十名・信徒二十名・一般六十名
- 要 旨…名勝指定庭園の地域への

関わりを考え、有効的な活用のひとつとして夜間特別公開を行い、声明が響きわたるなか蛍の放生を行っている。

大日寺支部（見上知正支部長）

●事業名…子ども田んぼ

●活動年数…五年

●該当事業…環境保全・教育・まちづくり

●回数…随時

●場 所…鳥取県倉吉市桜

●人 数…寺族一名・檀徒十五名・一般十四名

●要 旨…山村に住む子どもに米の収穫までの農作業をおして、地域との連帯感を養う事業を行っている。



弥勒寺支部（柴山宣慶支部長）

●事業名…弥勒寺一隅大会

一隅を照らす運動総本部だより

●活動年数…四十年

●該当事業…文化

●回数…一年一回

●場 所…鳥取県鳥取市青谷町

●人 数…寺族二名・檀徒二十名・信徒二名・一般二名

●要 旨…支部独自の「一隅を照らす運動大会を開催し、研修生の発表や講師の講話などを交えて一隅を照らす教えを敷衍している。

善光院支部（乾光伸支部長）

●事業名…善光院交流もちつき会

●活動年数…二年

●該当事業…福祉

●回数…一年一回

●場 所…鳥取県鳥取市福部町

●人 数…寺族二名・檀徒四十名

●要 旨…もちつき会を開催し、年齢層を問わず地域住民の交流の場として寺院を開放している。

皆成院支部（清水成真支部長）

●事業名…三徳山夏の集い

●活動年数…十二年

●該当事業…清掃奉仕・教育・文化

●回数…一年一回

●場 所…鳥取県東伯郡三朝町

●人 数…寺族二名・檀徒二名・信徒八名・一般二十五名

●要 旨…外国人に日本の文化や習慣に触れてもらう交流会を開催し「一隅を照らす運動」の精神を体感してもらう。

興隆寺支部（市原修俊支部長）

●事業名…山寺コンサート

●活動年数…五年

●該当事業…文化

●回数…一年一回

●場 所…山口市大内矢田

●人 数…寺族三名・信徒二十名・一般三百名

●要 旨…山口の伝統芸能である鶯流狂言を中心にしながら、幼児のわらべ唄、児童による太鼓、雅楽、二十五絃箏ユニットによる演奏、ブラバンド演奏等趣向を凝らした催しを開催している。

四国教区本部

妙法寺支部（大岡真祥支部長）

- 事業名…丸亀ジャズストリート
- 活動年数…一年
- 該当事業…まちづくり・文化・音楽活動
- 回数…数…年一回
- 場 所…香川県丸亀市
- 人 数…寺族十名・檀徒十名・信徒十名・一般四百名
- 要 旨…音楽文化の振興と丸亀市中心街の活性化をはかるイベントとして丸亀ジャズストリートを開催している。二十七バンドが全八会場において演奏するため本堂を会場として提供している。

玉瀧寺支部（大岡真祥支部長）

- 事業名…寺社清掃・道路清掃保全・伝統文化行事の開催
- 活動年数…二十年
- 該当事業…清掃奉仕・環境保全・まちづくり・文化
- 回数…数…年十二回
- 場 所…香川県丸亀市広島町
- 人 数…檀徒十名

要 旨…

過疎の島となつている讃岐広島で、地区の檀徒が協力して地域の清掃奉仕活動と伝統行事を守る文化活動を行っている。



九州東教区本部

眞光寺支部（糸永崇幸支部長）

- 事業名…第九回文化講演会
- 活動年数…十年
- 該当事業…文化
- 回数…数…年一回
- 場 所…大分県大分市大字千歳
- 人 数…寺族三名・檀徒三十名・信徒二十名・一般八十名



要 旨…

檀信徒や一般の方から講師を選び、講演を主にして文化にふれてもらう機会をつくっている。

善正寺支部（野中玄雄支部長）

- 事業名…第二十九回延岡「橋の日」
- 活動年数…二十八年
- 該当事業…清掃奉仕・環境保全・まちづくり
- 回数…数…年一回
- 場 所…宮崎県延岡市 安賀多橋
- 人 数…寺族二名・檀徒三十名・信徒二十名・一般二百五十名
- 要 旨…橋の日は、橋に感謝、健康増進と郷土の発展を願う。当日は午前六時よりラジオ体操その後に式典と清掃活動を行っている。

長徳寺支部（大岐和典支部長）

- 事業名…清掃奉仕活動・地区住民ふれあい活動
- 活動年数…二年
- 該当事業…清掃奉仕・教育
- 回数…数…年一回
- 場 所…宮崎県宮崎市清武町
- 人 数…檀徒十名・信徒十名・一

● 要 旨… 一般三十名

スポーツや「こどもほっしんえ」を合宿形式で実施し、青少年の健全育成をはかっている。



三岐教区本部

正行院支部（傍島法苑支部長）

- 事業名… 正行院つどいの会
- 活動年数… 二十年
- 該当事業… 教育・文化
- 回数… 年八十回
- 場 所… 岐 阜県不破郡垂井町
- 人 数… 寺 族三名・檀徒二十名・信徒二十名・一般三十名
- 要 旨… 毎月つどいの会



を開催している。参加者の先祖供養、説法を通じて地域住民との交流を行っている。

不動院支部（高木誠海支部長）

- 事業名… はぐはぐサークル
- 活動年数… 七年
- 該当事業… 福祉・文化
- 回数… 年十二回
- 場 所… 岐 阜県岐阜市日野西
- 人 数… 寺族二名・一般六名
- 要 旨… 毎月二十日に不登校やひきこもりへのメンタルケアを行い、年二〜三回七夕会、お月見会などを通じて、地域の人と交流し社会進出できるように支援している。

東海教区本部

根福寺支部（林敬順支部長）

- 事業名… ボーイスカウト稲沢第九団
- 活動年数… 三十四年
- 該当事業… 教育
- 回数… 年三十回
- 場 所… 愛知県稲沢市祖父江町
- 人 数… 寺族二名・一般八十名
- 要 旨… 宗教を基盤とした円満な

青少年の健全育成を計るため、年間を通じて野外活動や地域行事への積極的な奉仕活動を行っている。



成願寺支部（中村廣文支部長）

- 事業名… 花まつりコンサート
- 活動年数… 一年
- 該当事業… 文化
- 回数… 年一回
- 場 所… 愛知県名古屋 市北区
- 人 数… 寺族一名・檀徒三名・信徒十名・一般六十名
- 要 旨…



毎年四月八日「花まつり」にあわせてコンサートを開催し、人々の交流の場を提供して多くの方とご縁を結べるような機会をつくっている。

圓観寺支部（加藤大道支部長）

- 事業名…介護老人福祉施設訪問
- 活動年数…三年
- 該当事業…福祉・教育・まちづくり・慰問・文化
- 回数…年十二回
- 場所…愛知県阿久比町
- 人数…信徒八十名
- 要旨…老人とのふれあいに社会福祉法人一期一会 荘へ訪問し法話等をして、福祉活動を行っている。



信越教区本部

長岳寺支部（入亮純支部長）

- 事業名…沙羅双樹子どもまつり

- 活動年数…十二年
- 該当事業…教育・まちづくり・リサイクル・文化
- 回数…年一回
- 場所…長野県下伊那郡阿智村
- 人数…寺族四名・檀徒八名・信徒十名・一般三十五名

- 要旨…地域で活動する大人による絵本の読み聞かせや手遊びなどなごを披露する。祭の司会は、地域の小学生が担当し情操教育の要素を持ちながら、楽しく参加できる内容になっている。



神奈川教区本部

興禪寺支部（金子慈淵支部長）

- 事業名…第二回港北民族芸能発表会「蘭陵王」

- 活動年数…明治時代発足
- 該当事業…文化
- 回数…年一回
- 場所…神奈川県横浜市
- 人数…寺族十名・檀徒二十名・一般百名

- 要旨…県内の寺院や神社等での演奏会を開催し文化交流をしている。



南総教区本部

萬福寺支部（奈良康信支部長）

- 事業名…萬福寺サロンいこい
- 活動年数…十年
- 該当事業…清掃奉仕・環境保全・福祉・慰問
- 回数…年二十六回
- 場所…千葉県鴨川市
- 人数…寺族三名・檀徒十八名・一般八名
- 要旨…憩いの場所を提供し、自分達で作った作品を地域の学校・幼

稚園・保育所その他施設に届けながら交流をしている。

群馬教区本部

禪養寺支部（小出晃正支部長）

- 事業名…清掃奉仕・環境保全・まちづくり・災害寺の見舞い
- 活動年数…九年
- 該当事業…清掃奉仕・環境保全・まちづくり・慰問
- 回数…年四回
- 場 所…群馬県前橋市
- 人 数…寺族三名・檀徒三十名・一般四名
- 要 旨…通学路沿いの雑木林の手入れなどをして、子どもが安全に通学できる環境づくりを行っている。

恩行寺支部（竹村興肇支部長）

- 事業名…伝統文化の保存と継承
- 青少年健全育成
- 活動年数…八年
- 該当事業…文化
- 回数…年十五回
- 場 所…群馬県高崎市
- 人 数…寺族一名・檀徒十三名・

会員十二名・一般七十六名

- 要 旨…地域の子どもたちに伝統芸能である獅子舞を指導し、継承することにより理解を深め子どもたちの健全育成をはかっている。

正法院支部（藤井祐心支部長）

- 事業名…清掃奉仕活動
- 活動年数…一年
- 該当事業…清掃奉仕
- 回数…年十四回
- 場 所…群馬県前橋市
- 人 数…寺族二名・檀徒五十名・一般十名
- 要 旨…毎月地域の方々から奉仕で清掃活動を行っている。また、参加者によるスポーツ大会を開催し交流をはかっている。

常光寺支部（堀越教之支部長）

- 事業名…「下仁田ジオパーク」青倉エリア及び世界遺産の環境保全
- 活動年数…九年
- 該当事業…清掃奉仕・環境保全・教育・まちづくり・文化
- 回数…随時

●場 所…下仁田ジオパーク青倉エリア

●人 数…寺族四名・檀徒四十二名・信徒一名・一般四名

●要 旨…常光寺「共生の会」は、一隅を照らす運動の行動の柱である「生命」「共生」「奉仕」をさらに具体化させ「学ぶ」「祈る」「ボランティア」として活動している。主に下仁田ジオパークの環境保全と清掃活動に取り組んでいる。

福島教区本部

五大院支部（鈴木行賢支部長）

- 事業名…五大院縁日を開く会
- 活動年数…十三年
- 該当事業…まちづくり
- 回数…年十二回
- 場 所…福島県福島市
- 人 数…信徒十五名・一般十五名
- 要 旨…毎月二十八日に護摩祈祷を行うと共に書道展、昔話の夕べ、生け花展、コンサートなどのイベントを開催し交流をはかっている。

山形教区本部

慈光明院支部（山口雪江支部長）

●事業名…慈光明院和の文化を楽しむ会
●活動年数…一年

●該当事業…文化

●回数…年十二回

●場所…山形県山形市

●人数…寺族二名・信徒四名・一般二十名

●要旨…毎月、寺院を開放し十三仏のうちのひとつの仏さまの真言を唱えて、趣旨を書いてお姿を写仏する連続講座を開催して地域の方との交流をはかっている。

安楽律法流本部

宗休寺支部（佐藤舜海支部長）

●事業名…関善光寺ふれあいプロジェクト
●活動年数…四年

●該当事業…教育

●回数…随時

●場所…岐阜県関市

●人数…寺族二名・信徒十名・一般三十名

●要旨…NPO法人、市民団体、ボランティア団体などと協同し、既存の枠組みにとらわれない取り組みの創出など、寺院を地域社会との新しい交流の場とする取り組みをおこなっている。

●要旨…NPO法人、市民団体、ボランティア団体などと協同し、既存の枠組みにとらわれない取り組みの創出など、寺院を地域社会との新しい交流の場とする取り組みをおこなっている。

玄清法流本部

成就院支部（梶谷隆幸支部長）

●事業名…国登録有形文化財箱嶋家住宅和の文化シリーズ第三弾荒神祭

●活動年数…五年

●該当事業…文化

●回数…年二回

●場所…福岡県福岡市

●人数…寺族五名・一般四十名

●要旨…

荒神琵琶保存会は玄清法流所伝の琵琶法義の継承と振興を図るとともに、福岡県指定無形文化財である「玄清法



流盲僧琵琶」の保存および普及活動を行っている。

一隅を照らす運動推進大会

○群馬大会

群馬教区本部（谷晃昭教区本部長）では、平成二十六年十月十七日に富岡市かぶら文化ホールを会場に、第十一回「一隅を照らす運動」群馬大会を開催した。今回は「〜つなげよう得がたきあらゆる生命〜私たちは忘れない三・一一」とテーマを掲げ、約千名の参加者が集まった。

はじめに、檀信徒会連盟会長の河田泉氏の挨拶で開会し、谷教区本部長、一隅を照らす運動教区本部長会長の都筑玄澄師より主催者挨拶が行われ、続けて木ノ下寂俊同運動理事長、横山照泰同運動総本部長からそれぞれ祝辞が述べられた。

記念法要として「東日本大震災慰霊・復興祈願法要」が谷教区本部長御導師のもと厳修され、会場は厳かな空気に包まれた。法要の後、一隅を照らす運動の実践者として一名七団体が谷教区本部長より表彰を受けた。

記念講演では、同運動副会長である中尊寺貫首の山田俊和師を講師に迎え、「抜苦与楽」と題した講演が行われた。山田副会長は自身が貫首を務める中尊寺建立の意を中心に話され、参加者は熱心に耳を傾けていた。講演の後、群馬天台青年会の行っている東日本震災被災地でのボランティア活動報告が谷晃仁会長より行われた。

アトラクションとして、堺すずむ氏によるギター漫談「おしゃべりギター」が披露され、愉快な話とテンポの良い漫談で会場は笑いに包まれていた。



大会最後には教区本部より被災地支援金として山田副会長へ、地球救援募金として横山総本部長へそれぞれ寄託され、大会は幕を閉じた。

○京都大会

京都教区本部(穴穂行弘教区本部長)では、平成二十六年十月十八日に京都

市左京区の真正極楽寺(竹内長敬支部長)を会場に、京都教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、約二百名の参加者が集まった。

まず、穴穂教区本部長より開会の挨拶があり、続いて横山総本部長より祝辞があった。

第一講では、浪曲師の春野恵子氏による「両国夫婦花火」という題目の浪曲が披露され、三味線の音に合わせた語りに参加者は耳を傾けていた。

第二講では延暦寺一山伊崎寺支部長の上原行照師による「一隅を照らす」と題した講演が行われた。上原師は自身の体験された千日回峰行で修得されたことや、気づかされたことなどを話され、参加者は熱心に話しに聞き入っていた。



最後に、同運動副会長でもある京都教区檀信徒会会長(天台宗檀信徒会会長)の谷口義久氏の挨拶で大会は閉会した。

○信越大会

信越教区本部(師田香雪教区本部長)では、平成二十六年十月二十九日に長野市の善光寺大勸進(小松玄澄支部長)を会場に、信越教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、約百二十名の参加者が集まった。

まず、師田教区本部長より開会の挨拶があり、続いて横山照泰総本部長より祝辞があった。

第一部では師田教区本部長御導師による法楽と福聚教会信越地方本部による御詠歌が披露され、参加者一同で唱和した。

第二部では陸奥教区観音寺支部長の鮎貝宗城師による「津波と火災からの復興」と題した講演が行われた。鮎貝師は地震発生



当時からの体験談を話され「震災から三年半経ったが記憶を風化させてはならない。気仙沼という文字をみると、東日本大震災の事を

思い出して欲しい」と参加者に力強く話された。

最後に、同運動教区本部事務局長の吉澤道信師より挨拶があり、その後大会は閉会した。

○茨城大会

茨城教区本部(酒井貫全教区本部長)では、平成二十六年十一月四日に筑西市黒子の千妙寺(阿純孝支部長)を会場に、第十九回「一隅を照らす運動」推進茨城大会を開催し、約二百名が参加した。

まず始めに酒井教区本部長御導師のもと法楽が行われ、引き続き酒井教区本部長より主催者挨拶があった。続いて来賓の横山総本部長、天台宗宗議会議員の船戸俊宏師、茨城教区議会議長の小川晃照師より祝辞があった。

続いて、二名二団体へ東日本震災の支援活動に対して一隅を照らす運動総本部よりの感謝状が横山総本部長から授与された。また、茨城教区本部の活動報告として教区本部事務局長の松永博臣師より、災害時にお寺が拠点となり特定非営利活動法人アムダが医療活動を行う協力関係寺院の紹介などが行われた。

第一部講演では、阿支部長(同運動顧問)が「人間に生まれること大いなる喜びなり」と題して講演され、いかに人間として生まれることが幸せかを参加者に説き、皆熱心に聞き入っていた。

第二部では、落語家の三遊亭金時氏



による落語「二番煎じ」が披露され、会場には笑い声があふれていた。

最後に、茨城教区区主事会長の鈴木俊彰師より挨拶があり、茨城教区議会議員の新井量栄師の閉会の辞によって大会は幕を閉じた。

○栃木大会

栃木教区本部(齋藤宏明教区本部長)では、平成二十六年十一月二十六日に壬生町中央公民館を会場に、第七回栃木教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、約千百名が参加した。

はじめに、齋藤教区本部長より開会宣言があり、続いて来賓の横山総本部長より祝辞があった。

第一部では、今大会のテーマである「伝教大師の精神をおしひろめた慈覚大師円仁」その魅力と功績を探る」をもとに四名の講師により、次の演題による講演がなされ、参加者は熱心に耳を傾けていた。

落語「強運の人慈覚大師円仁」(落語家露の団姫師)

講演「至宝の旅行記を遺した円仁」(國學院大學栃木短期大学教授酒寄雅志氏)

講演「一級の国際人円仁」(テンブル大学講師阿南・バージニア・史代氏)

講演「仏教東流の立役者 円仁」(天台宗総合研究センター長齊藤圓真師)(講演順)

第二部では、四名の講演者をパネリストに迎えて「伝教大師の精神をどうひろめたのか」をテーマに、栃木教区日光部観音寺支部長の千田孝明師をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われた。本題に入る前に「慈覚大師円仁の研究をなぜ始めたのか」という質問では、講演者は一様に

◎平成二十六年八月豪雨義援金の寄託を受ける

一隅を照らす運動総本部が八月二十六日から九月三十日まで呼びかけを行っていた「平成二十六年八月豪雨義援金」に対して、平成二十六年九月十日に天台宗寺院婦人連合会より義援金の寄託を受けた。当日、米田陽子会長から横山総本部長へ目録が手渡された。

また、平成二十六年十月二日には比叡山高等学校生徒会執行部の渡邊愛衣さん、養覚裕哉君が来庁し、義援金の



「人生と深いご縁があった慈覚大師円仁に惹かれ研究を始めた」と答えられていた。

最後には壬生寺保育園の園児による「円仁太鼓」が披露され、今大会は盛会の内に幕を閉じた。

でも被災地の為に役に立てれば」と語っていた。

なお、お預かりいたしました「平成二十六年八月豪雨義援金」の支援先等については、『天



寄託を受けた。同校生徒会執行部では、朝の挨拶運動にあわせて校門前に立ち、生徒へ募金の呼びかけを行った。

今回の義援金には募金活動に加え、文化祭のバザーの収益も含まれている。

渡邊さんは「最初は募金に協力してくれる人が少なかったが、続けるうちに多くの人から協力いただけた」と苦労も多かった様だが、「遠い所から少しでも被災地の為に役に立てれば」と語っていた。

台宗報』三〇一号に掲載してある報告の通りです。大変多くのご協力をいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

◎公開講座を開催

平成二十六年十月一日、天台宗務庁大会議室を会場に第十四回・一隅を照らす運動公開講座を開催し、約三百名の参加者が集まった。

今回は、延暦寺一山円童院住職の宮本祖豊師を講師に迎え、「仏を感得する」と題して講演された。約一時間の講演の中で、宮本師は十二年籠山行をはじめ、出家得度に至るまでの経緯など自身の経験を元に話され、参加者は熱心に聞き入っていた。



また、公演後には質疑応答の時間を設けて、またとない機会に参加者から多くの質問があり、会場は大いに盛り上がりがあった。

◎比叡山中学校生が義援金を寄託



平成二十六年十月七日、比叡山中学校ボランティア委員長の唐島田響生君が来庁し、東日本大震災復興支援のための義援金を

横山総本部長に寄託した。

この義援金は同年九月二十四日・二十五日に同校の文化祭で、ボランティア委員会が開催したバザーでの売り上げであり、例年総本部へ寄託している。

唐島田君は「皆さんのおかげで、多くの義援金が寄せられました」と感想を述べていた。

◎「一隅を照らす運動」四十五周年東日本大震災復興祈念大会を開催

平成二十六年十一月十二日、郡山ユラックス熱海（福島県郡山市）を会場に「一隅を照らす運動」四十五周年東日本大震災復興祈念大会を開催した。



に、災害犠牲者の追悼と復興を祈念した。

大会では「東日本大震災物故者慰霊・復興祈念法要」や東日本大震災天台宗災害対策本部より福島県へ復興の為に支援金として二百万円の寄託等が行われた。

他にも、元T-BOLAN森友嵐士氏によるトーク・歌唱や仏教思想家ひろさちや氏による講演、男性コーラスグループのデュークエイセスによるトーク・歌唱が行われた。

◎NHKに義援金を寄託

平成二十六年十二月三日、総本部は「NHK歳末たすけあい」と「NHK

「一隅を照らす心」手を取り合つて次代につなげよう」と題し、地元福島県をはじめ全国各地から集まった三千名を超える参加者と共

海外たすけあい」へ義援金を寄託した。NHK大津放送局から赤木俊夫局長に来庁いただき、木ノ下寂俊一隅を照らす運動理事長、小堀光實同運動副理事長から目録が手渡された。歳末たすけあいには、十二月一日に比叡山麓坂本地区で行われた「天台宗全国一斉托鉢」にて寄せられた浄財四十九万三千三百七十九円。海外たすけあいには、地球救援事務局から百万円がそれぞれ寄託された。

また、寄託式には比叡山幼稚園から代表して園児四名と保護者四名も出席し、秋に行われたバザーの収益金が園児たちから赤木局長に手渡された。



「歳末たすけあい」
「海外たすけあい」は国内外の支援が必要な人々のために役立てられる。

◎三千院門跡が浄財を寄託



平成二十六年十二月二十四日、三千院門跡の堀澤祖門御門主が天台宗務庁に来庁され、堀澤御門主より横山照泰一隅を照らす運動総

本部長へ浄財が手渡された。

この浄財は、京都市左京区大原の三千院一帯の地で師走の恒例行事として定着している「托鉢寒行」で集まったもので、地球救済事務局の様々な救援活動に充てられる。

◎比叡山高校の宗内生が托鉢浄財を寄託

平成二十七年一月二十六日、比叡山高校の宗内生三名（檜原亮紀君二年生、高川慈海君二年生、山崎孝有君一年生）と教員一名が来庁し、平成二十六年十二月七日に行われた「寒行托鉢」で集まった浄財十万一千五百四十一円を地球救済募金として総本部に寄託した。



この托鉢は、毎年宗内生が実践仏教の一環として、天津市仰木地区において行っているもので、今年も宗内生十一名が参加した。

托鉢に来るのを待っている。これからも続けていくとのこと。

また、檜原君から「困っている人のために有効に活用して下さい」と横山総本部長へ寄託されると、横山総本部長からは「ありがとうございます。皆さんのお気持ちに役立てさせてもらいます」と返礼がなされた。

◎一隅を照らす運動理事会を開催

平成二十七年一月二十七日、天台宗務庁において一隅を照らす運動理事会が開催され、平成二十七年年度の一隅を照らす運動の事業計画や予算が審議され、平成二十七年年度「一隅を照らす運動」通常会計歳入歳出予算ならびに平

成二十七年年度「一隅を照らす運動」地球救済事業特別会計歳入歳出予算が承認された。

会議の冒頭で、森川宏映会長より「災害の中には天災と人災がある。天災と人災の中でも我々の手の届かない災害がある。しかし、いじめや社会問題などは我々が未然に防げるのではないか。それには、一隅を照らす運動の個人会員、団体会員を増やし1人1人が一隅を照らすことが一つの目的ではないか」と挨拶があった。会議の中では顧問・役員の間・役員への嘱に関する報告があった。



また、横山総本部長より昨年十一月十二日に開催された「一隅を照らす運動」四十五周年東日本大震災復興祈念大会について、三千名を超す参加者が集まり盛会の内に幕を閉じた報告があり閉会となった。

◎叡山学院生が托鉢浄財を寄託

平成二十七年一月三十日、叡山学院



生三名（玉泉会会長小寺照哉さん総合学科三年、同会副会長片岡秀仁さん総合学科四年、同会総務西野祐聖さん総合学科三年）と教員一名が来庁し、東日本大震災復興支援の義援金を横山総本部長に寄託した。

今回の義援金は、平成二十七年一月二十四日に行った叡山学院寒行托鉢で集まった浄財で、十一万一千八百六十七円が寄せられた。

叡山学院生で組織された学生会「玉泉会（ぎよくせんかい）」が実践仏教の一環として、大津市園城寺町の園城寺（三井寺）界隈で行っているもので、今年には生徒二十八名、職員四名が托鉢を行った。

学院生は「訪問した家の方やお店の方から多くの浄財から協力していただけた」と感想を述べていた。

教育里親募集

一隅を照らす運動総本部では、学校に行きたくても行けない海外の子どもたちに就学費用を援助するため、「教育里親支援」を行っております。

この制度は子どもたちを預かる従来の里親とは異なり、皆様からの支援金を総本部が取りまとめ、現地の施設や団体を通じて子どもたちに届ける「教育費の支援事業」です。

〈支援（育英金）の種別〉

ご支援は「個人」のほか「団体」でも受け付けております。また、年額3万円（1口）を5年間継続して支援していただくことが原則ですが、一時的な支援も受け付けておりますので、積極的なご支援をお願いいたします。

- A：継続支援…年額3万円（1口）を5年間
- B：一括支援…5年分を一括で15万円の支援
- C：一時支援…3千円以上

〈現在の支援先〉

インド：パンニャ・メッタ子供の家
タイ：プラティープ財団

〈お申し込み・お問い合わせ〉

まずは、一隅を照らす運動総本部へお問い合わせ下さい。折り返し教育里親制度申込書を送付させていただきます。